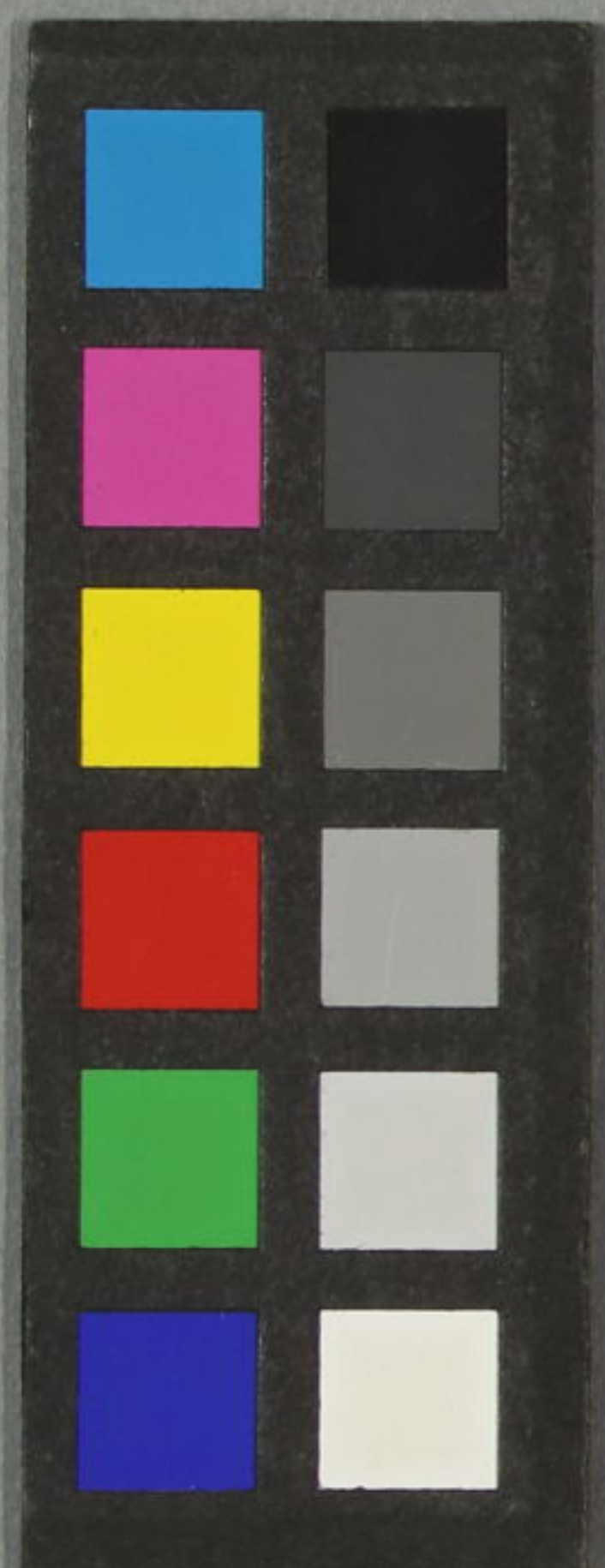




東海
道中

膝栗毛八編

上

^13

4302

16

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40

ハ13
4302
16



早稲田大学
教育学部図書

湯川幸三郎先生
寄贈図書

20527<2000-252>

道中膝栗毛ハ編序
凡そ其の十方ちるハ其の北九もな
るに云々其の首を執るハの爲を
以て永く其の爲にし其の爲を
極位と云ふ事ハ先大江山の玉所
長よりして其の神子玉葛社に

跡をさめいけ、集経の八部末世も傳へて
く、郭集を八代集と云ふは、易ふ
ハ、卦十系盤子ハ、集令らふもハ、百乃
あ、切あれを、傳もハ、月と限と、伝、予、
集、系もも、ハ、編、玉て、と、け、ハ、川、也
思案のきを、ね、と、花の、ま、酒、の、微、碎

子託ふも、安の、雨、ハ、迹、上、知、安、氏、中、揚
た、ち、れ、だ、と、云、い、け、傳、集、系、の、派、白、橋
あ、ま、ま、ま、り、の、大、坂、著、長、所、は、の、
清、姓、者、は、は、や、め、

文化
亡子孟春
十返舎一九誌



大阪八軒家

江戸・大坂の岸
すく大坂の浦

くも
よ免を

果
五を川

大
はの

浦
の

く
せみ

は
の

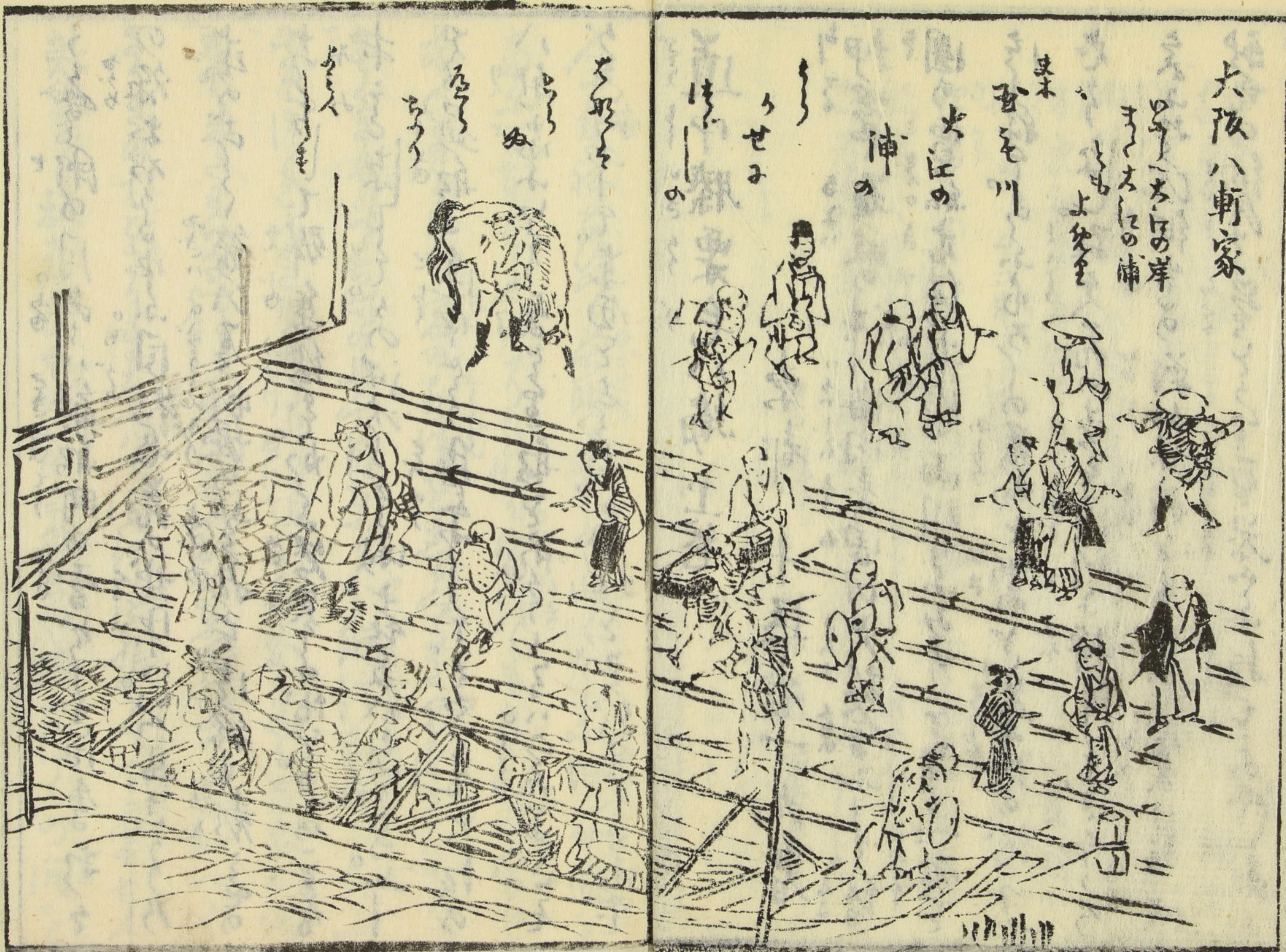
く
せみ

ぬ

く
せみ

く
せみ

く
せみ



うき世の月久ハ解船所の雪ぐさ。に雪おろ
の海おろく。中ふ同様ぬ花の世中ハ。いりもさくら乃
まきのぐらゝ。解ひる船場のまきおろ。は解も新しそ
うき世として群集総をもかゝる。いんぎの地を。このこも
本とほして。うのぼたぐさ。新し花ハなるあ。や
兄の屋敷。車庫より。花あけ。く。さくも大坂の
ハ新しないう。まきを重敷とおが。う。う。う。う。う。
うき世の中。まきを重敷とおが。う。う。う。う。う。

人々身杯^{あつち}そのいつて長町とさしてゆくやぶ塙^{はたけ}筋通を
ある日むかし人ぞうりねど。宿^{やど}もあらふお合せ。
あんとるうけて宿のお儀とあつたよ。お逢^{あひま}いませう。
まごころぬ。此長町の十七月あり。分洞^{ぶんどう}河内屋^{がわうちや}よりよ
ゆきをはきゆきする。おれりさきふ。サキくおきやくさぬお儀
あてまでこの子^この^中の^{ちゅう}の^の。そいふおまじなせられまこと。おい
さうさぬでござうまこと。ハイ同行に指^{さし}せん人^{ひと}十三^{じゅうさん}軍七人^{ぐんしちにん}
さう。これくおさんざのや。お勢^{せい}さぬまや。西のたくの間^まと

おねのてあげさんせ。よきまじくお揃たぎぐーごうめい
の。コレ久三。おわおはひちあつる。お湯がぶふあひぬるても
どんぢん。あさくうめであげませいのをそしく。時ゆり
その早七人さぬい。いこお中よりさつやせんへんをそ
あつる
後入参者。それおん。いよう。泉別博の天川
なんきう
至へ引あんのよりあひさ。やつぞう。おさうのさ。に
おはんや。おさう。おさう。よりあのおひら。居よ
あや。せぬ。とふさんせ。川かえく必要ありにしまあよ。

[illegible]

[illegible][illegible]

移りくハ梅^{あま}ハそらぎくハそらぎも

あちふ目のあちふ人そらぎ

移りくハ梅^{あま}ハそらぎくハそらぎも

あちふ目のあちふ人そらぎ

移りくハ梅^{あま}ハそらぎくハそらぎも

あちふ目のあちふ人そらぎ

移りくハ梅^{あま}ハそらぎくハそらぎも

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

あちふ目のあちふ人そらぎ

えとまらけえなまらけ同とき
 こゝろとをかううひうひとあき
 かくく。くさるゝとち。くりや

あつてゐる。こゝが女房とちゃんせひするところだ。

さなと ちんのところ ちんのところ ちん 懐かしいの

ち兒
りや
己ふ
知る女房にやうある。そのれありやう。

又や幸れ トいとれそ誂ひくえんでおきあへそうの
まゝかりちゆきふのちとのきこつけとこれむ
秋月

光信女ヤア。えちうけ曲うま地ハちめめさふの

胃い
どろり胃い
とろ。コリ
大々くどろで喉がむる

ほく。そ
ぞうきん
えんを
ころさるゝ
ちのむ
のころ
あそ

う。早のむかはる。むろと。早の。フリヤ。コロー。むもの村の。

五法利で。その省とる。其もさめ。りていふ。

のそとよりいふの。よまお大切なる傳を。ちえせふい

あつて。ころさぬうちにも人留をやあまやまをまひ。

老^かり。ちくま^{ちくま}う^う。そ^その^のふ^ふや^やめ^めい^いく^くト^トと^とり^りと^とう^うあ^あ

とる。さうもかじき
わらじのこゝろ
秘。おめがさんき。

柳をわけし時。ころげ出をまうまうと云ふ。

そのちの無^{ばい}煙^{やう}法^{ほう}とれとささう清^{づけ}さ^いとありて。名と

のぐらちの華おソリやみぐくどゆもらふくら移入

日るイアくまぐく。たのむとらふ。まどうてくあやく

トしきせいのうて。るる。まど。い。あ。ち。ち。せ。び。ま。い。ち。く。と。て
コ。の。い。さ。る。ぐ。る。ち。ま。は。い。ま。う。く。と。り。ち。せ。ま。ぐ。ま。う。れ
た。は。の。う。も。ら。の。う。ち。は。イ。ア。り。あ。ん。ぐ。あ。で。も。移。入。の。さ
お。し。さ。ま。ど。う。く。し。て。イ。ア。り。あ。ん。ぐ。あ。で。も。移。入。の。さ

人の皆くあもこころう 若れんしき

秋の 拂ともうぢうく。身ハ

は。は。は。く。く。ち。ま。ど。う。ま。は。の。く。も。ら。け。て。笑。ひ。を
ほ。く。ま。げ。ん。な。と。て。サ。サ。い。ら。が。程。ろ。く。一。瞬

ゆも
の。あ。さ。め。て。あ。は。れ。な。れ。務。き。と。り。お。じ。は。ま。ま。と。を
あ。は。く。あ。や。い。る。程。と。ま。ゆ。は。よ。こ。人。も。く。ひ。ま。な。ひ。

丹波の人。の。壁。て。出。ゆ。き。は。は。は。く。ま。ま。あ。な。は。
う。方。遠。田。の。は。り。う。ゆ。へ。く。あ。の。あ。り。の。な。ど。こ。ろ

一見せんと。あ。さ。く。ま。る。う。ち。な。ん。そ。う。出。て。コ。ハ。あ。な
さ。う。ぢ。う。つ。ま。ま。と。今。日。ハ。そ。う。ち。や。へ。そ。あ。と。う。で。あ。さ。う

ま。ま。の。い。み。ち。あ。な。ち。う。ち。安。ま。の。の。り。の。ち。う。ち。あ。な。の
う。い。は。の。う。ち。ま。ま。の。い。み。ち。あ。な。ち。う。ち。安。ま。の。の。り。の。ち。う。ち。あ。な。の

高津社

長子

子

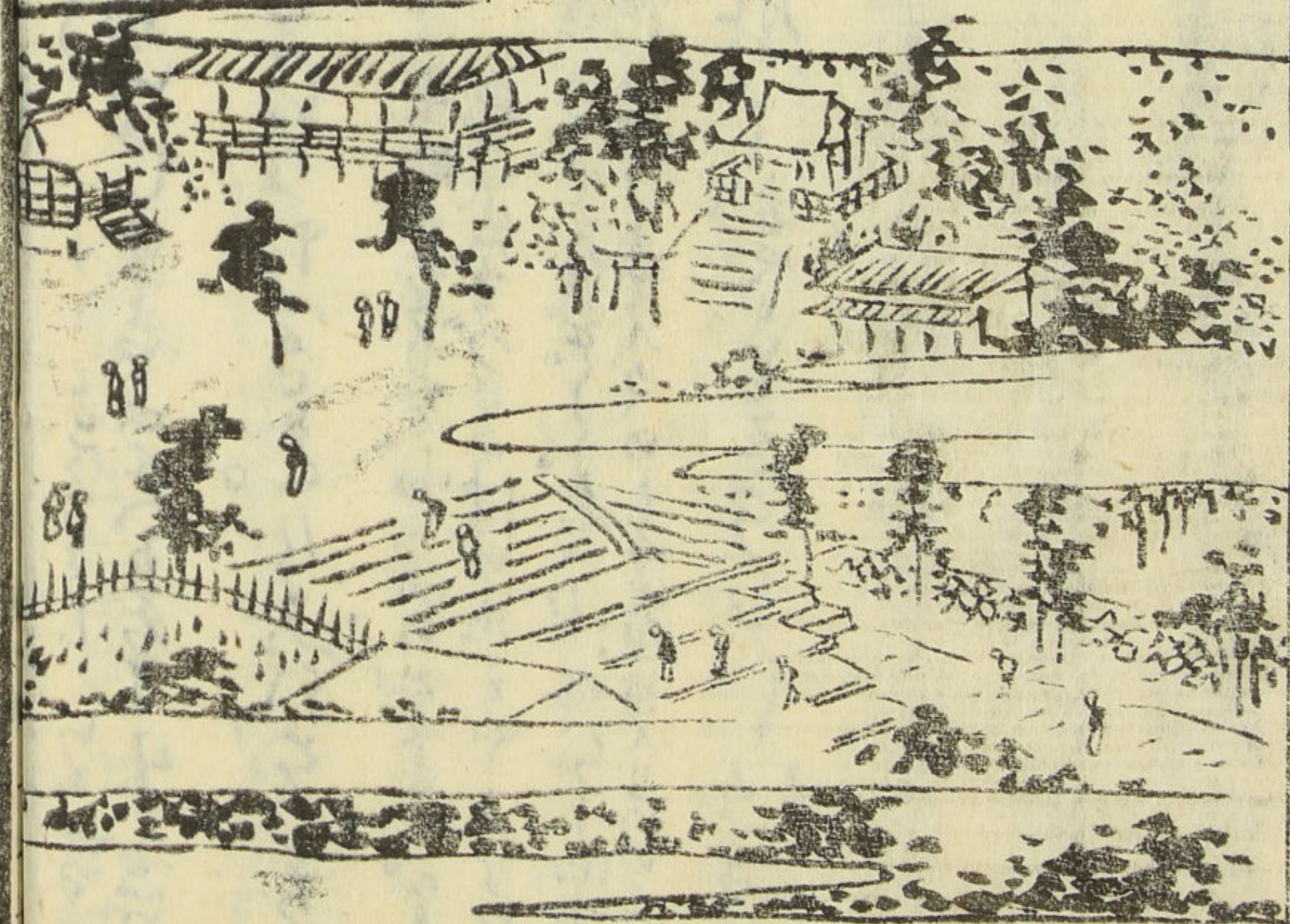
あ

三

月

威和亭

鬼武



馬

坊

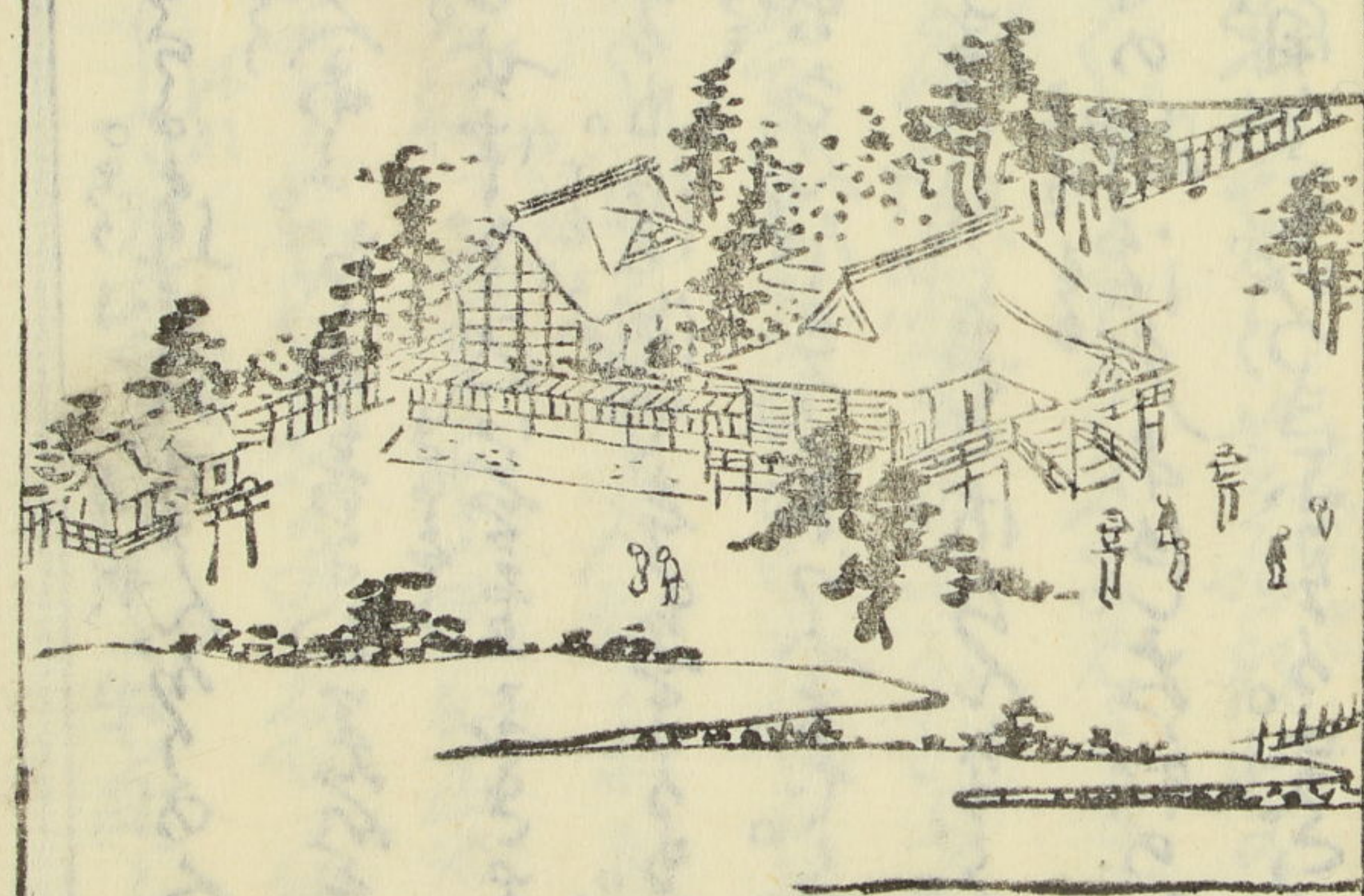
秋

天

さ

墨亭

月磨



蟻あきのさふまで足らう。ちう
 道くろんぐりの今も。なれ
 米の中は増えるが何人ある。おまゝはおまゝの所。お顔
 のえりちやが何がある。女中ぐいの家々をふさいで。あつ
 そりかた費ひて喰くておぼるも。流例でもあらうも。播種ちくづめの
 物もの人もみづ。結伴むすばんの風をへがそうといふまで。ふせなる
 さうはわかれが奇妙。あと風ををたらんちや。佐吉
 仲なかは清海。あまきの岬。汐平。あじ。大船の船所が。
 飯ぬぶと。何と角さういふまゝに。まゐり。

ぎへは、目^らを糸とお身^まふあてると。昔^{むかし}は、及^{およ}者のなごを
 はけひをじ本のうききく。強^{つよ}きこえて、なごもさうせん
 お世^よとよまれむ。ちきりのうきぎのあらひ。なんくとあ
 ぐとも同^{おな}あ。さのりきでひるるが、おそくもや。千五^{せんご}ひと
 免^{めん}のを同^{おな}流^{りゅう}る、やく。め^めが、糸^{いと}やさん。おふきつと、物
 所^{ところ}も、ちく、足^{あし}るう、糸^{いと}、司^しも、あや。このお山^{やま}の、ツイ、物^{もの}き
 め^める、目^めの、ち、つ、れ、あや、ちく、足^{あし}るの、あや、糸^{いと}、ま、と
 く、足^{あし}るの、ご、つ、な、せ、り、ハ、テ、け、る、深^{ふか}く。物^{もの}所^{ところ}も、同^{おな}へ

名酒

庚子

鷄

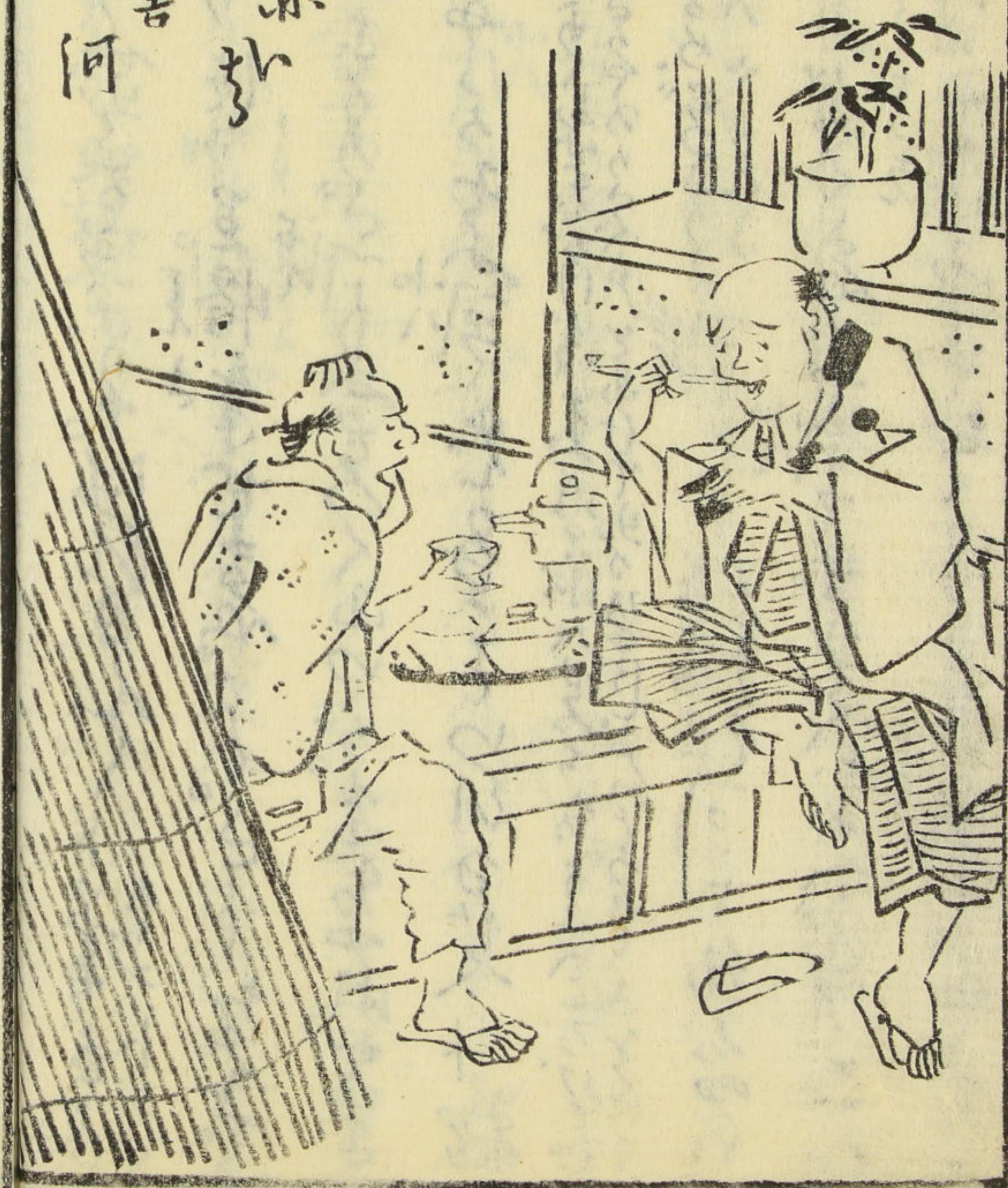
曉

香

34

東亞平舍

一河



あまはきふて。甘んぢんとするが。おらん

くゐるおゐりじい^ハくゑはてえちせく。日ちちが日ちちと

トひざぐらとさきく
なす
ちせのうと出さきく
あんとあきふとぞのうち
ちあ

大酒がりとみそ。むやく一ツをひのまうてゐる

こゝろつけがよい。又き死へりてのふれ
トあると云ふの
久ぢうと

あてずうく、ぬくけく、さきよのていあ、かせう、ごはあ、いさるもせがど、ごいを
ひか、ごう、ふれう、うてわりと、さうり、わく、く、とてを、うちいづ、とて

此のちのちを争ひてあらざる

くま
う
字
ち
沼
川
の
ち
池
ち
転
々
そ
も

まうくろ

まうくろはちうてまうくろけんを

おほよくと馬をさる

まうくろはちうてまうくろけんを
あまの
青物の市うあておまの地ちうる

ちうてあておまの地ちうる
商人

尾ひれのうあておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

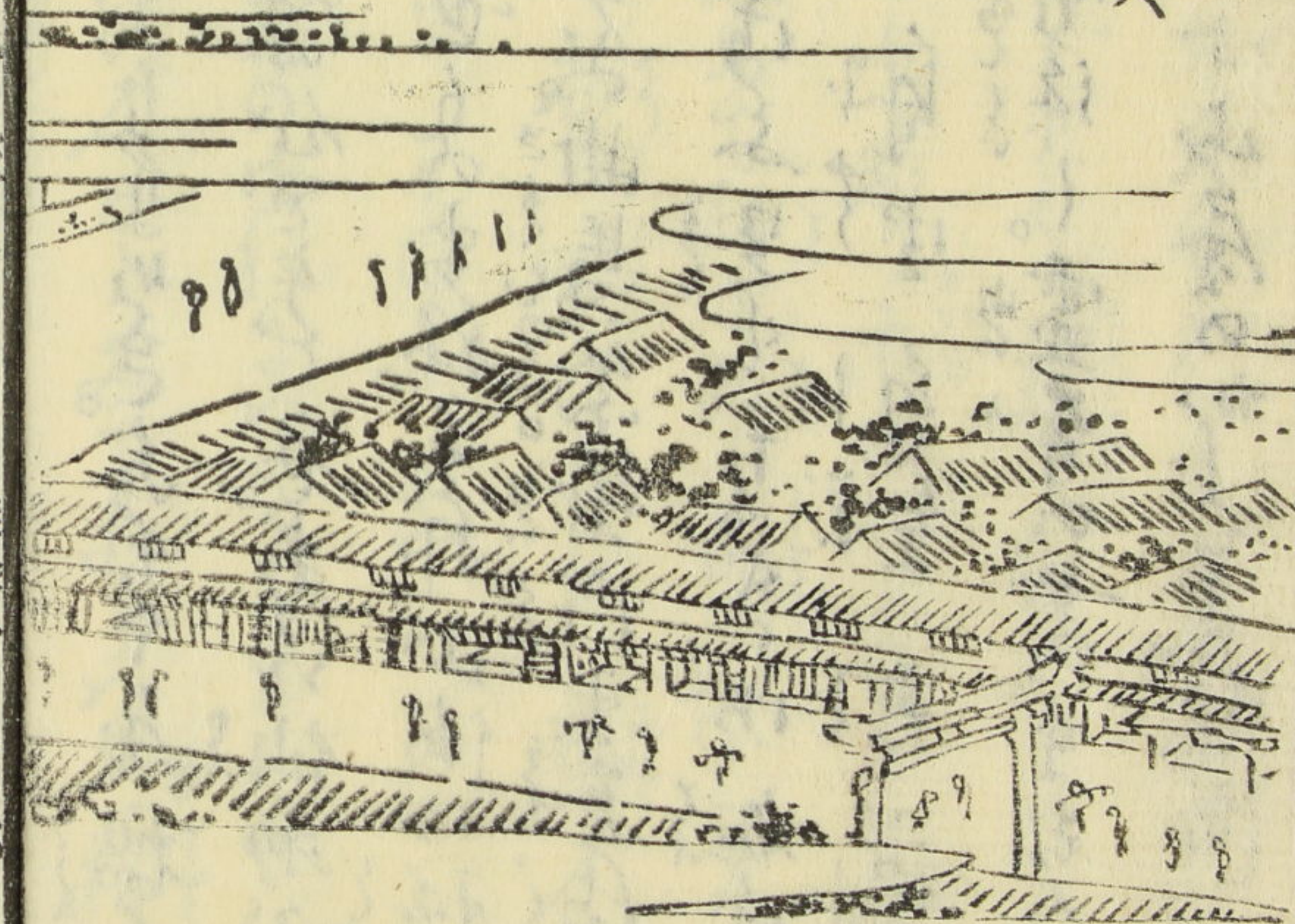
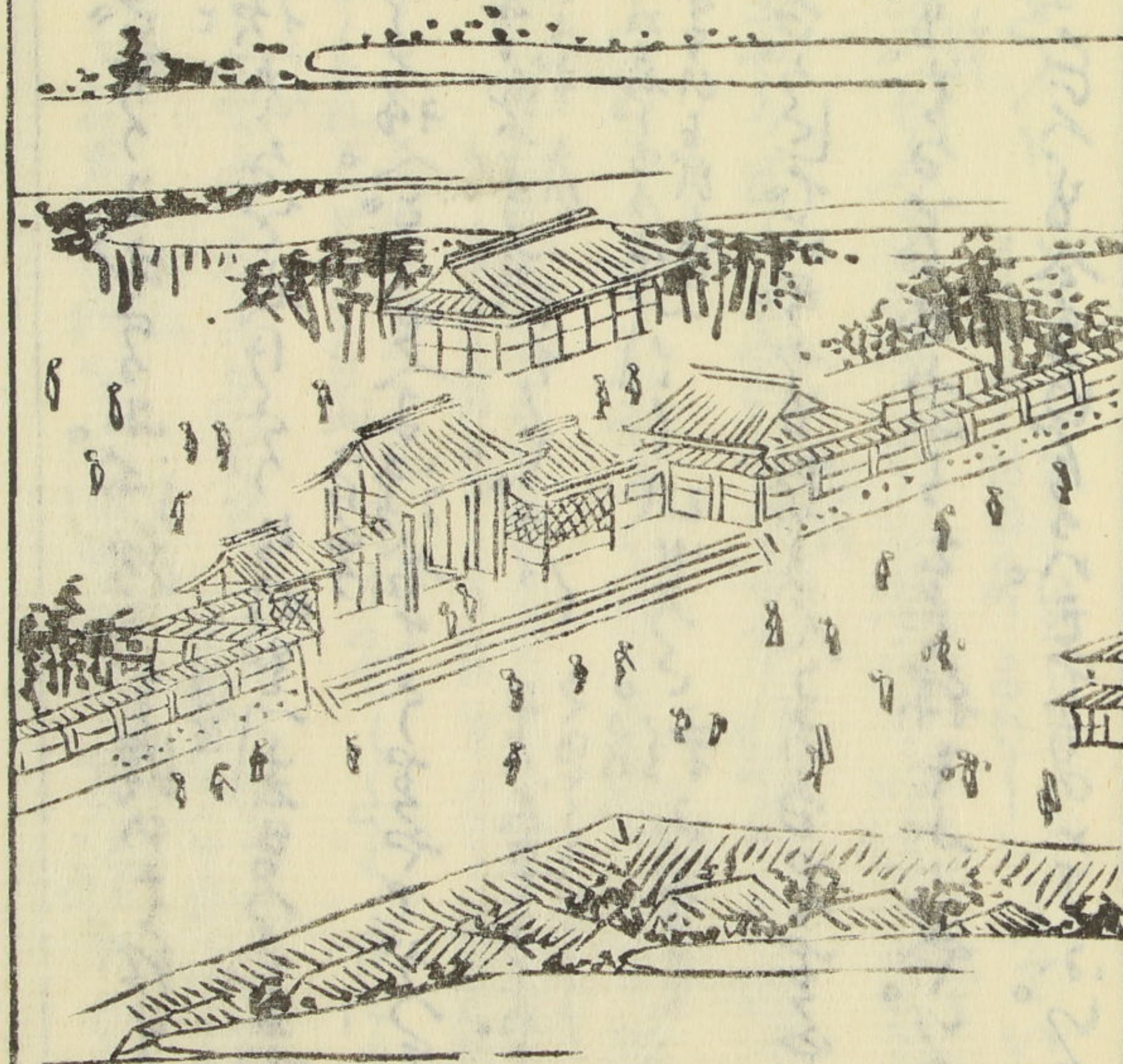
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる

あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる
あておまの地ちうる



[illegible]

正
れ
多
世
の

物

美丸



